



愛媛バド通信

Vol. 8

発行：愛媛県バドミントン協会

編集：広報委員会

日本バドミントン協会 今井事務局長へインタビュー

日本バドミントン協会事務局を支え、兼務で日本実業団バドミントン連盟の理事長を勤める、今井氏にインタビューをいただきました。ロンドンオリンピックへの期待、日本のバドミントン界の動き、愛媛県の取り組みなどに評価をいただきました。



【氏名】 今井茂満
【生年月日】 昭和25年2月16日
【座右の銘】 「誠実と努力」
【血液型】 A型
【家族構成】 夫人1名 1男2女
(長女、長男、次女)
【好きな選手】 湯木博江
【その他】 早稲田大学非常勤講師
早稲田大学バドミントン部監督
日本実業団バドミントン連盟理事長

日本バドミントン協会
理事 事務局長 今井氏

Q1. ロンドンオリンピックの有力選手の紹介

協会の強化目標は「**オリンピックでメダル獲得**」。現在、一番メダルに近いのは女子ダブルス陣で世界ランキング3位に藤井瑞希・垣岩令佳組、6位に末綱聡子・前田美順組、7位に松尾静香・内藤真実組。このベスト8に入っているペアで2組のオリンピック出場枠を狙い、現在競い合っています。



世界ランキング3位
(左) 垣岩令佳選手(右) 藤井瑞希選手



世界ランキング6位
(左) 末綱聡子選手
(右) 前田美順選手

世界ランキング7位
(左) 松尾静香選手
(右) 内藤真実選手

男子は佐々木翔がランキング6位、田児賢一も10月のフランスオープン2位などシングルスの場合はベスト16で2組出場枠)実績があり、こちらも充分期待が持てる。



佐々木翔選手



田児賢一選手

他、女子シングルスは全英2位の廣瀬栄理子、世界ランキング15位の佐藤冴香、男子ダブルスは平田典靖・橋本博且組、混合ダブルスは池田信太郎・潮田玲子組が出場可能な有力選手です。



全英2位
廣瀬栄理子選手



世界ランキング15位
佐藤冴香選手



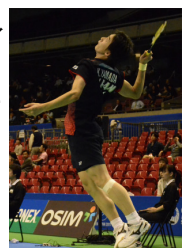
(左) 橋本博且選手
(右) 平田典靖選手



(左) 池田信太郎選手
(右) 潮田 玲子選手



男子単、佐々木選手、田児選手に続き、愛媛出身選手でオリンピック出場に最も近い、山田和司選手にも、今後期待しましょう！
(愛媛県バドミントン協会 広報委員)



写真提供: SMASH and NET.TV

Q2.日本協会としての方針や方向性



日本ナショナルヘッドコーチ
朴 柱奉氏

朴ヘッドコーチを2005年に招いてからナショナルチームでは種目別(男女シングルス、男女ダブルス、混合ダブルス)担当コーチ制を実施し、下にナショナルアップチーム、ジュニアナショナルチーム(アンダー19、16、13)を組織して、次世代へ続く強化体制を整えている。

Q3.バドミントンのTV放送が多くなりましたが、苦労話は?

如何にバドミントンが世間に認知されるかを私としてはいつも考えております。まず話題になることが一番です。オグシオはその素材としては最高でした。2008年のマスコミ報道のオグシオ効果は大手広告会社換算で293億円とでました。その元は2004年より始めたマスコミ交流大会からと思っています。いままで協会役員と数人の選手とマスコミ関係でおこなっていたマスコミ交流大会をナショナルチームメンバーとマスコミ各社(TV、雑誌、新聞等)の記者を中心としたメンバーが組みダブルスを結成するという形式のバドミントン大会に変更企画いたしました。競技及び選手をより身近に感じてもらい、記事に繋がればと思って、あまり積極的でなかった監督以下選手まで理解を求め、実施したのが現在に繋がったと思っています。競技大会の放送は過去においては全日本総合選手権大会のみが基本でしたが企画番組、クイズ番組、日本リーグ、国際大会など広がってきていると思います。今年の全日本総合選手権大会はNHKの教育、BSですが土曜日と日曜日は5種目全部放映してくれることになりました。すごい進歩だと思います。

Q4.最近いろいろなグッズがあるようですが・・・

今年に入って、3月ワンピースの映画とコラボしてジュニア向けポスターを作り、全国配布しました。カレンダー専門業者と2009年から日本代表選手カレンダー製作、来年も販売します。9月には日本代表選手トレーディングカード発行、ヨネックスオープンジャパンではキティストラップ、クリアファイルをつくるなど基本姿勢は選手を必ず使うことに努めています。大会ポスターもジュニアはジュニア選手を使うなど選手中心に作成しています。



カレンダー



クリアファイル



ストラップ

Q5.今井事務局長からみた愛媛の印象は？ 第61回全国大会へ愛媛選抜女子チームが参加しました が戦いぶりとは？

協会が自ら、バドミントン競技の普及、指導、選手強化に力をいれている熱心な協会と認識しております。実業団大会出場の愛媛選抜女子チーム参加がよい例です。新しい参加資格にすぐに対応して参加することはそれなりの地盤、準備、指導力、協力体制等がなくてはできません。実際の大会での選手の戦いぶりは選抜チームとは思えないくらいチームワークが良く、素晴らしいプレーもいっぱい見せていただき、いいチームだなあという印象でした。こういう姿勢からまた新しい挑戦、夢が広がっていくと思います。また、愛媛県については全国大会開催回数、審判登録数においても全国の上位に位置しているなど重要な協会と考えております。日本協会として感謝申し上げます。



『愛媛県選抜』チーム

